

旭日双光章を受章して

那覇西クリニック 理事長 玉城 信光



令和3年4月29日春の叙勲発表があり「旭日双光章」の榮譽に浴することができました。

昭和54年(1979)に東京から県立那覇病院に赴任し、平成8年(1996)に那覇西クリニックを開業し、たくさんの仕事をさせていただきました。その間沖縄県医師会、那覇市医師会、医師会会員の皆様と私の職場の皆、それと何よりも私を応援していただきました多くの患者さんや県民の皆様のおかげでこの度の受章に至ったものと感謝いたしております。

受章に際し私の妻も大変喜んで、皇居に参内することを楽しみにしていました。「できるのなら美智子上皇后様に御目通りができれば嬉しいな」と話しておりました。しかし、ご承知のように5月、6月はコロナの第4波の真っ只中にあり、宮中参内は取りやめになり、沖縄県知事よりの伝達式もなくなりました。保健医療部より叙勲表彰状と勲章を頂きました。他の先生方のようなセレモニーが全くなく、一枚の写真もありません。それで妻と二人で結婚式の写真を撮影したグランドキャッスル(ダブルツリー

by ヒルトン那覇首里城)で記念写真を撮影してきました。48年ぶりの二人だけの写真です。

沖縄県医師会では副会長としてたくさんの仕事をさせていただきました。中でも北部地区の産婦人科医不足の問題では県立北部病院の産婦人科の先生、開業医のお二人、琉大の青木教授や県内の産婦人科のある病院の先生方と面談を重ねて解決策を探ってきました。私の時代には解決はできませんでしたが、もう少しで「公立沖縄北部医療センター」の開院になります。開院後は新しい病院を皆で大切に育てていってほしいと思います。

東日本大震災の時には会員の先生方には大変お世話になりました。震災翌日(3月12日)には対策本部を立ち上げ、14日月曜日には宮城会長の元で今後の方針が決定されました。私は派遣責任者として15日には出口先生を中心にした第1陣の医療救護班を派遣しました。その後第15陣まで延べ派遣人数79人、派遣期間79日に渡り岩手県大槌町の城山体育館で支援活動を継続してきました。5月31日をもって



ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城にて記念写真

現地の医療活動が再開されたことを確認し終了しました。医薬品、医療機器、食糧、その他救護に必要な物資を多くの皆様より寄付していただきました。派遣された皆様からは「大変貴重な経験をさせて頂いて感謝しています」とのお話があり、ご苦勞をかけたはずなのに感謝の言葉をかけて頂いて大変嬉しかったことは忘れられません。医師会の力が結集された大事業でした。

一方で私のライフワークである、乳がん検診、診療も確実に進歩してきました。触診による乳がん検診を昭和56年から開始しました。その後沖縄県成人病管理指導協議会乳がん部会の部会長をさせて頂きながら、マンモグラフィ検診の基礎も作らせていただきました。現在ではマンモグラフィ検診も全県で行われるようになり、本土でできる乳がん診療はすべて沖縄でできるようになりました。これからも体力、知力の続く限り、皆様と共に県民の医療に尽くしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

<主な経歴>

沖縄県政策参与

平成19年4月1日 沖縄県政策参与
平成26年11月30日

沖縄県公務員医師会

昭和60年4月1日 沖縄県公務員医師会理事
平成2年3月31日
平成2年4月1日 沖縄県公務員医師会副会長
平成6年3月31日

那覇市医師会

平成12年4月1日 社団法人那覇市医師会理事
平成14年3月31日
平成14年4月1日 社団法人那覇市医師会常任理事
平成20年3月31日

沖縄県医師会

平成4年4月1日 社団法人沖縄県医師会理事
平成6年3月31日
平成18年4月1日 社団法人沖縄県医師会副会長
平成25年3月31日
平成25年4月1日 一般社団法人沖縄県医師会副会長
平成30年6月21日

